

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・エクセレント・オープン(愛称 世界連峰)」は、このたび、第14期の決算を行いました。

当ファンドは、グローバル・エクセレント・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第14期末(2015年2月26日)

基準価額	11,913円
純資産総額	180百万円
第14期	
騰落率	18.4%
分配金(税込み)合計	400円

(注)騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)

追加型投信/内外/株式

作成対象期間：2014年8月27日～2015年2月26日

交付運用報告書

第14期(決算日 2015年2月26日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

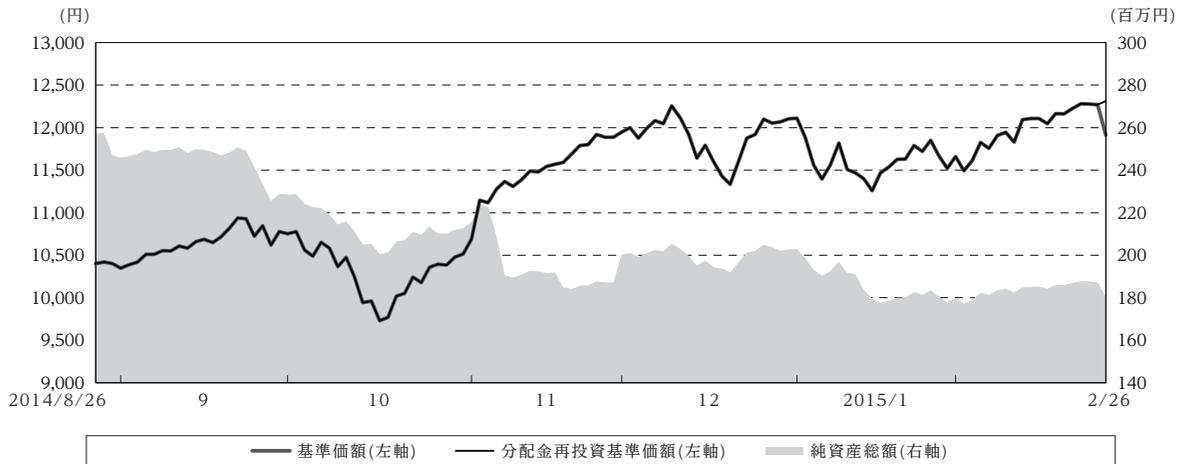
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

期中の基準価額等の推移

(2014年8月27日~2015年2月26日)



期首：10,401円

期末：11,913円(既払分配金(税込み)：400円)

騰落率：18.4%(分配金再投資ベース)

(注)分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注)分配金再投資基準価額は、期首(2014年8月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・国別では、米国、英国、フランスなど、業種区分では、生活必需品、一般消費財・サービスなどが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、グローバルな経済成長の恩恵が期待される銘柄のうち、CVS HEALTH CORPやVISA INCなどが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・また、日本円に対し米ドルなどが上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・国別では、カナダ、業種区分では、エネルギー、公益が基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、SCHLUMBERGER LTDやHALLIBURTON COなどが基準価額にマイナスに寄与しました。
- ・また、日本円に対しユーロやポンドなどが下落したことが基準価額にマイナスに寄与しました。

(2014年8月27日~2015年2月26日)

1 万口当たりの費用明細

項 目	当期		項目の概要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬	91	0.806	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(43)	(0.380)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(43)	(0.382)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	19	0.165	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(19)	(0.165)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	2	0.017	(c)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(2)	(0.017)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	38	0.339	(d)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(35)	(0.307)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(3)	(0.025)	その他は金融商品取引を行う識別番号取得費用
合 計	150	1.327	
期中の平均基準価額は、11,251円です。			

(注)期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

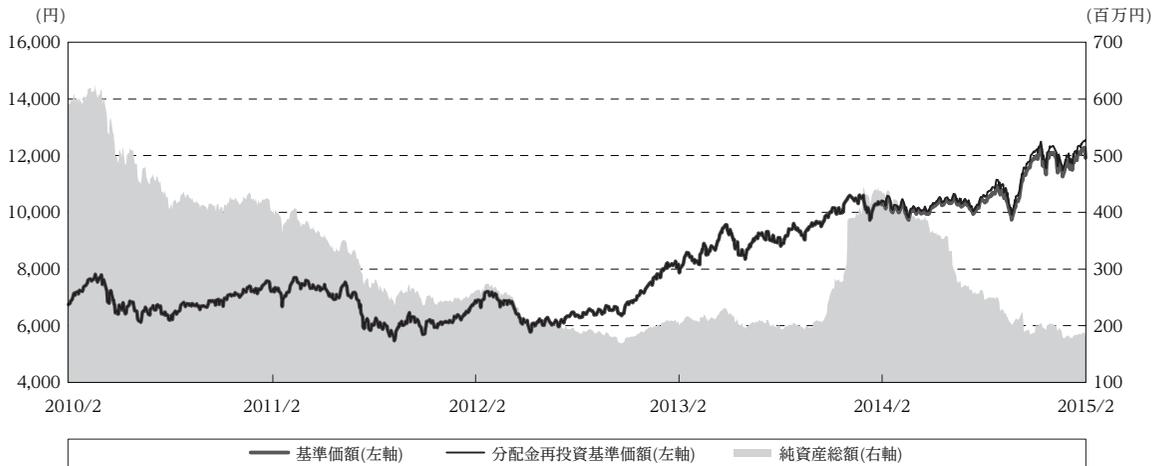
(注)各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2010年2月26日~2015年2月26日)



- (注)分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注)分配金再投資基準価額は、2010年2月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年2月26日 期初	2011年2月28日 決算日	2012年2月27日 決算日	2013年2月26日 決算日	2014年2月26日 決算日	2015年2月26日 決算日
基準価額 (円)	6,754	7,260	6,890	7,955	10,268	11,913
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	100	500
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.5	△5.1	15.5	30.3	21.1
S&P 500指数騰落率 (%)	—	19.7	3.5	8.9	24.0	14.6
ストックス・ヨーロッパ600指数騰落率 (%)	—	16.8	△6.8	8.9	17.3	14.3
純資産総額 (百万円)	590	400	263	202	433	180

- (注)上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注)純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注)騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注)S&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2014年8月27日~2015年2月26日)

世界の株式市場は、当初堅調に推移しましたが、国際通貨基金（IMF）が世界経済見通しを下方修正したことなどが嫌気され、2014年10月中旬にかけて急落する展開となりました。11月にかけては、米国企業による好決算の発表を受けて反発しましたが、12月には、原油価格やエネルギー株が下落したことに加え、2015年1月にはギリシャのユーロ離脱に対する懸念が高まり、不安定な展開が続きました。期末にかけては、1月下旬に欧州中央銀行（ECB）が量的金融緩和策の導入を発表したことなどが好感され、上値を試す展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2014年8月27日~2015年2月26日)

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。

マザーファンドの運用につきましては、雇用の改善や個人消費の伸びなどを背景に米国経済が回復基調を強めたことに加えて、米連邦準備制度理事会（FRB）による低金利政策の長期化が見込まれたことから、米国株式市場の見通しが良好であると判断し、米国株のウェイトを高めた運用を行いました。

セクター配分に関しましては、期間を通じて、米国の景気回復に伴う業績の伸長が期待される一般消費財や資本財、情報技術などの景気敏感セクターのウェイトを高位とし、運用を行いました。

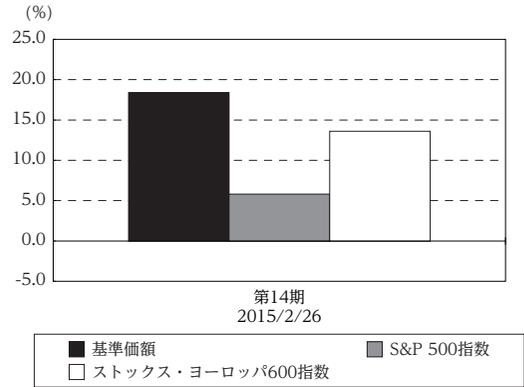
原油価格が下落しエネルギー株が調整した局面では、エネルギーセクターのウェイトを引き下げた一方、ガソリン価格の低下による個人消費の押し上げ効果を見込み、一般消費財セクターのウェイトを引き上げました。

(2014年8月27日~2015年2月26日)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) 参考指数は、S&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数です。

(2014年8月27日~2015年2月26日)

分配金

当ファンドは、毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配金につきましては、基準価額水準等を考慮した結果、1万口当たり400円（税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第14期
	2014年8月27日~2015年2月26日
当期分配金	400
(対基準価額比率)	3.249%
当期の収益	315
当期の収益以外	84
翌期繰越分配対象額	2,443

(注)対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<投資環境見通し>**

米国では、雇用環境の改善を背景に、個人消費が景気の拡大を牽引すると見込まれることに加えて、欧州では、ECBによる量的金融緩和の実施を受けて緩やかな景気回復が続くと期待されるなど、世界の株式市場の見通しは良好であると考えます。一方、米国の利上げ開始時期を巡る不透明感が短期的に株式市場の波乱要因になると考えます。

<グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)>

主要な投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針です。

<グローバル・エクセレント・マザーファンド>

当面の運用方針としては、米国や欧州などの先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。また、ECBによる量的金融緩和策の実施などを背景とする景況感の改善を評価し、欧州のウェイトを高める方針です。銘柄選別におきましては、安定的な業績の成長が見込まれる大型株を中心に、資本財や情報技術、消費関連株などの景気敏感セクターの銘柄に注目し、組入れる方針です。

お知らせ

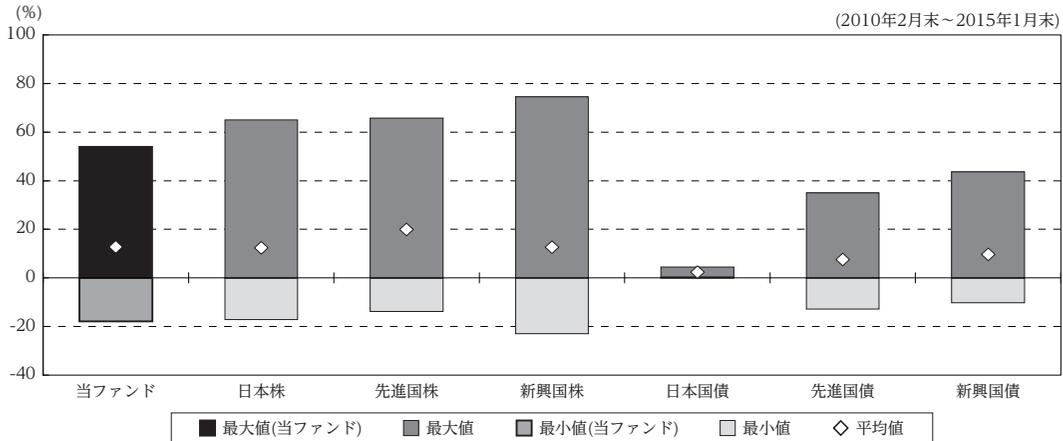
法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2014年12月1日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年2月28日から、原則として無期限です。	
運用方針	グローバル・エクセレント・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資します。	
主要投資対象	当ファンド	グローバル・エクセレント・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
分配方針	<p>年2回、2月26日、8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。</p> <p>収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行います。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	53.9	65.0	65.7	74.5	4.5	34.9	43.7
最小値	△17.8	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	12.7	12.3	19.9	12.7	2.4	7.5	9.7

(注)全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注)2010年2月から2015年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注)上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注)当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年2月26日現在)

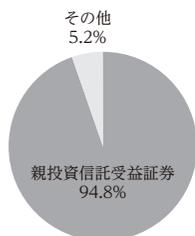
○組入上位ファンド

銘柄名	第14期末
	%
グローバル・エクセレント・マザーファンド	94.8
組入銘柄数	1銘柄

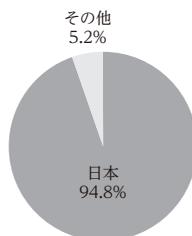
(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

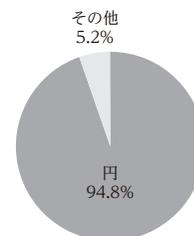
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

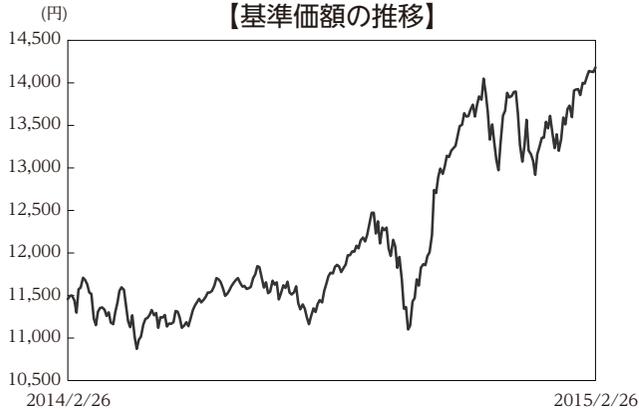
純資産等

項 目	第14期末
	2015年2月26日
純資産総額	180,425,974円
受益権総口数	151,451,254口
1万口当たり基準価額	11,913円

* 期中における追加設定元本額は12,317,801円、同解約元本額は108,166,374円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・エクセレント・マザーファンド



【1万口当たりの費用明細】

(2014年2月27日~2015年2月26日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	41 (41)	0.337 (0.337)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.035 (0.035)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	43 (41)	0.358 (0.339)
(そ の 他)	(2)	(0.018)
合 計	88	0.730
期中の平均基準価額は、12,160円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、3ページをご参照ください。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2015年2月26日現在)

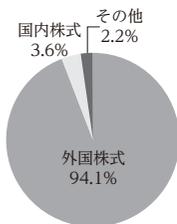
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国 (地域)	比率
					%
1	WALT DISNEY CO/THE	メディア	米ドル	アメリカ	2.9
2	CVS HEALTH CORP	食品・生活必需品小売り	米ドル	アメリカ	2.9
3	SANOFI	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ユーロ	フランス	2.8
4	AMAZON.COM INC	小売	米ドル	アメリカ	2.7
5	STARBUCKS CORP	消費者サービス	米ドル	アメリカ	2.6
6	ANHEUSER-BUSCH INBEV NV	食品・飲料・タバコ	ユーロ	ベルギー	2.6
7	MONSANTO CO	素材	米ドル	アメリカ	2.6
8	MASTERCARD INC-CLASS A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.6
9	CELGENE CORP	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	2.6
10	TEXAS INSTRUMENTS INC	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	2.5
	組入銘柄数	50銘柄			

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

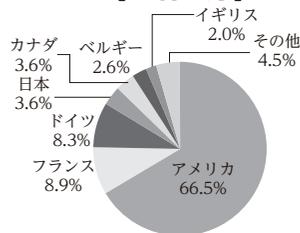
(注)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注)国(地域)につきましては発行国を表示しております。

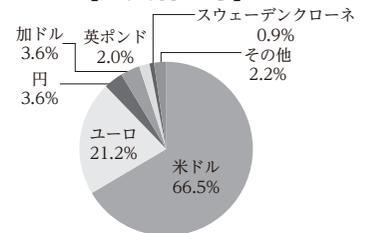
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注)国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。

なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス–エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。